



今日のトピック

- ✓ 市長に問う。西東京市の魅力とは？
- ✓ 教育長に問う。オンライン授業の課題と今後
- ✓ 子育て世帯給付金、本市も「現金一括給付」
- ✓ 子どもかわらばん ホームページがあたりしくなりました

01 西東京市の魅力とは？

「子どもがど真ん中のまちづくり」に市全体で取り組み！

「西東京市生まれ・西東京市育ち」をアピールしてきた池澤市長に、市のどんな魅力を発信していきたいか、一般質問で問いました。

市長：市の魅力は、都心へのアクセスがよく、緑が豊かで安らげる住環境が広がり、買物なども便利で、心安らぐ暮らしやすいところ。子どもの笑顔、笑い声が聞こえてくるような**子どもがど真ん中のまち**を築いていきたい。

多摩六都科学館、下野谷遺跡、特別緑地保全地区などの地域資源がある。

キャベツや保谷梨などの農産物、市内の逸品の商品を紹介する一店逸品事業を展開している。

近隣の武蔵野市、三鷹市、小平市と過去3年間の総数で比較しても、本市への転入が最も多い。

私は、「あらゆる部署が、子どもをど真ん中に置いた視点で何ができるのかを問い直すことが必要だ。子どもにやさしいまちと言えば西東京市と言われるようになってほしい。子育て中の現役世代が増えれば、税収、地域活動の担い手を増やしていくという意味でも、結果的に高齢者を支える存在になる」と訴えました。

活動報告

10月から12月にかけての
田村ひろゆきの活動をご紹介します

HP・SNSでも発信中！

いいね！西東京



川崎市・子ども夢パークを視察



若者向け緊急食料支援



ペットボトル回収機運用開始セレモニー



環境フェスティバル

当選から丸3年が経過しました。2022年を迎え、1期目の任期も残すところあと1年です。引き続き、市民の皆様からのご意見・ご相談など、どんなことでもお気軽にご連絡ください。

西東京市議会議員 田村ひろゆき

2018年12月初当選。無所属1期目。1978年7月西東京市向台町生まれ。向ヶ丘幼、上向台小、田無一中、中央大学杉並高、中央大学法学部政治学科卒。元旅行会社社員、武蔵野大学職員、衆院議員秘書。議員インターンシップの運営を柱に若者の政治参加を進める活動に20年以上関わってきました。政治を少しでも身近に感じてもらえるよう、取り組んでまいります。

090-9686-4581

info@tamura-h.net

http://tamura-h.net

@tamura__h(アンダーバー2つ)

@tamurahiroyuki.nishitokyo

@tamurahiroyuki.nishitokyo



いいね！西東京

市政報告かわら版は、議会翌月の1・4・7・10月発行予定です。

こども かわらばん

ホームページが あたらしくなりました

12月(が)22日(に)ち、西東京市(にしとうきょうし)のホームページがあたらしくなりました。いままでよりも、わかりやすく、みやすいホームページになりました。市議会(しぎかい)のページ、**こどもむけのキッズページもあたらしくなった**ので、ぜひみてくださいね。スマートフォン版(ばん)もみやすくなりました。「ガラケー」からはみられなくなりました。



おとなのかたへ：
議会では、今はスマホからのアクセスが多数派であることを指摘し、わかりやすいHPとなるよう求めてきました。検索機能の充実、セキュリティ強化、災害時・緊急時における情報の充実も図られました。市公式LINEの運用もスタートしました。

02 教育長に問う。オンライン授業の課題と今後

9月6日から30日まで市内小中学校で行われた**オンライン授業**。マスコミからも注目を集め、保護者の皆様にもおおむね評価いただけたものと思います。12月議会では、**理解度・学力の差**が生じなかったか、**視力低下**などの悪影響は、**登下校の安全**は、**フードロス**の状況は、などを質問しました。また、台風やインフルエンザ等で実施する可能性については、「**対面での授業を中心としながら、校長会と連携し慎重に検討する**」との答弁でした。



同僚議員と田無小、田無四中を見学

03 給付金、本市も「現金一括給付」

連日マスコミを騒がせたのが**子育て世帯への臨時特別給付金**。当初、1回目の5万円の給付を決めた12月3日の予算特別委員会で、「**10万円を現金一括給付という選択はできないのか**」と質問しましたが、この時点で国は「2回目はクーポン」という原則を崩していなかったため、「難しい」との答弁でした。その後、国での議論が進み、現金一括給付が選択可能となり、12月議会最終日の21日に改めて補正予算を成立させました。岸田総理の「聞く力」だと評価する声もありますが、**自治体としては振り回されたというのが本音**です。

またまた!? 委員会ストップ ～「議題内」か「議題外」か～

12月議会の予算特別委員会で、私の発言内容に関して「議題に関係ない意見だ」との指摘が出て、丸一日委員会がストップしました。私の発言は、財政調整基金(市の貯金)についての質疑の中で、「子育て世帯への給付を仮に現金一括給付とした場合、(後に国から財源が来るとしても)残高の16億がほぼなくなってしまう。国の方針変更が自治体を混乱させている」という趣旨のものでした。会議規則には議題外の発言をしてはならないとの規定がありますが、財政調整基金残高を見据えながら目下の課題である給付金についてどう考えるかは、十分に関係のある内容と考えて発言しました。各党派との調整の結果、「発言の中に議題にない内容が含まれていたように認識する。今後は議案の範囲内で審査してほしい」という結論になり、質疑再開となりましたが、「議題外」を厳格に運用しすぎると、自由闊達な議論を制約することにもなりかねません。もちろん無制限に何でも言っているとは思いませんが、関連性のある質問、意見は幅広く認めていただきたいと思います。

■子どもの国保料「均等割」の軽減は

国民健康保険料の子どもの「均等割」額を、2022年4月から**未就学児については半減**することが国の制度として決まりました。子どもが増えるほど負担が重くなるという課題が指摘されていたので、歓迎すべきことです。12月議会にはこの対象を**市として中学3年生まで広げ**ることを求める陳情が723名の署名とともに提出されました。市の意見は「財政は厳しく対応困難。市長会等で国や都に支援を要望する」とのことで、採決の結果、**不採択**となりました。近隣でも独自の軽減策を実施している市があります。「**子どもがど真ん中**」を掲げる**西東京市でもできないのか**と思うと残念です。

■西武新宿線が少し便利に?

西武池袋線と比べ、他路線との相互乗り入れもなく、利便性が今ひとつの感がある西武新宿線ですが、**西武新宿駅とJR新宿駅を直結する地下道計画**が動き出し、完成すれば乗り換えが便利になりそうです。また、**井荻駅～西武柳沢駅間の連続立体交差事業**により、市内では東伏見駅が高架化され、周辺の踏切がなくなり、まちづくりを進める起爆剤となります。なお、危険な踏切は今回の連続立体交差事業区間外にも多く、引き続き対策を求めていきます。



街頭報告会 & オンライン報告会(議会トーク)のお知らせです

1月16日(日)に街頭報告会を開催します。※荒天等中止の場合はHP・SNSでお知らせします。
10時00分～東伏見駅北口 11時00分～西武柳沢駅南口
12時00分～田無駅北口 14時00分～ひばりヶ丘駅南口 15時30分～保谷駅南口

また、下記日程でオンライン(ZOOM)による議会報告会(議会トーク)を開催します。

1月23日(日) 10時00分～11時00分 ※HP、電話、メール等で事前にお申込みください。

11人議員団による街頭リレートークも! 1月10日(成人の日)12:00保谷南、13:30ひばり南、15:00田無北

編集後記

子育て世帯への給付金にしろ、ワクチン接種にしろ、「あとは自治体でよろしく」と投げられて自治体が戸惑うケースが多くなっています。緊急対応だと思っていた状況が2年も続いています。収束の日を早く迎えたいものです。